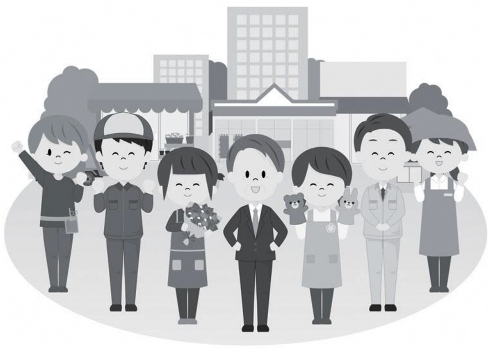
認知症を正しく知り、支え合うまちへ

申 問 長寿推進課（☎21-1364）

新しい認知症観

認知症になると、「何もできなくなる」「周囲に迷惑をかけてしまう」という悲観的なイメージを持たれがちです。しかし、近年は自分らしく生きることができる「新しい認知症観」が広がっています。

市内にも好きなことを諦めることなく、暮らしている方もいます。地域で安心して暮らしていくために、本人のできることを尊重して、「自分でやりたい」という思いを大切にしましょう。家族や周囲は、認知症への理解を深め、見守りながら、支え合うまちを目指しましょう。



認知症月間

9月は、認知症月間です。啓発イベントを開催しますので、ぜひご参加ください。

■茶のみやカフェ

とき・ところ

・9月8日（火）中央図書館（掛川）
・9月16日（水）大東図書館（大坂）
・9月17日（木）西部ふくしあ（下垂木）

各日午後2時～3時30分

内容

どなたでも参加可能な交流・相談の場です。

※各日、直接会場へ

■認知症に関する展示

とき・ところ

・8月29日（土）～9月15日（火）
大東図書館（大坂）
・9月18日（金）～10月1日（木）
中央図書館（掛川）
・9月1日（火）～30日（水）
市役所本庁1階ロビー（長谷）

※各日、直接会場へ

■本人ミーティング

とき・ところ

9月8日（火）午後2時～3時
中央図書館（掛川）

内容

認知症の当事者同士で、日ごろの思いを気軽に話せる場です。認知症の希望大使も参加します。

申込方法

9月7日（月）までに電子申請または電話で申し込み

申込フォーム

特定健診受診で生活習慣病予防

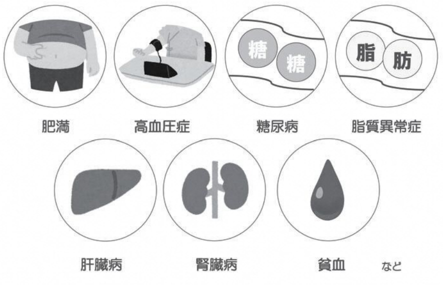
国保加入の40～74歳が対象

問 健康づくり推進課（☎62-6151）

特定健診を受診して健康を守ろう

特定健診は、別名「メタボ健診」とも言われ、生活習慣病を早期に発見し、病気の発症や重症化を予防することを目的としています。

特定検診でわかること



これらの生活習慣病は、自覚症状がないまま進行することが多く、症状が出るまで放置すると、脳出血や脳梗塞、心筋梗塞などの大きな病気を発症するおそれがあります。年に一度の健診を受け、まずは自分の数値を知ることが大切です。早期発見、早期改善を心がけましょう。

青色封筒の受診票を確認

国民健康保険に加入している40～74歳の方へ、6月から順次、青色の封筒に入った「特定健診受診票」を発送しました。

通常1万円ほどかかる内容の健診を1,200円で受けられます。令和9年3月末に40、50、60、70歳になる節目の年齢の方は、無料で受けられます。

健診受診は10月までがおすすめ

医療機関によって、受診対象期間が10月までのところがあります。また、11月から12月はインフルエンザなどの予防接種で混雑するので、10月までの受診がおすすめです。定期通院中の方も特定健診の対象です。

皆さんで声を掛け合って、年に1回の特定健診を忘れずに受けましょう。

勤務先で健康診断を受けた方へのお願い

青色の封筒が届いた国民健康保険に加入している40～74歳の方で、健康診断などを職場で受けた方は、左の二次元コード「回答用フォーム」をスマートフォンなどで読み取って入力していただくか、健診結果のコピーを健康づくり推進課成人健診係へ提出してください。

回答用フォーム